

ACG035-P01

会場:コンベンションホール

時間:5月27日 09:00-10:45

ASTERデータによるアマモ場分布モニタリング手法の検討 Monitoring method for eelgrass bed mapping using ASTER data

三好 順也^{1*}, 谷本 照己¹, 高橋 暁¹

Junya Miyoshi^{1*}, Terumi Tanimoto¹, Satoru Takahashi¹

¹産総研・沿岸海洋

¹IGG, AIST

近年、藻場の持つ生物生息場としての機能や高い生産性などの重要性が指摘されている。そうした背景から、環境保全を目的とした長期的なモニタリングが必要とされており、市民参加も含めた容易かつ安価な手法が求められている。しかしながら、藻場を対象としたモニタリングは一般的に潜水作業を要するために、経済的負担が大きく、また探索範囲に限りがあることから、限定的な成果から広域的評価をせざるを得ないことが課題として挙げられる。

一方で、近年比較的安価に購入可能となった高解像度の人工衛星画像や既存の航空写真を利用して、沿岸域の形成過程や変動についての取り組みが行われており、広域的、経済的かつ長期的で継続可能性の高いモニタリング手法として注目されている。

本研究では、比較的広い藻場を有する広島県三津口湾を対象として、超音波藻場計測装置によってこれまで得られてきた藻場分布実測データと、同時期の衛星 Terra による比較的安価（1シーン1万円程度）な ASTER データを用いて、最尤法などの既存の分類手法による解析から衛星画像による藻場分布モニタリングの可能性を検討した。本大会では、その解析結果および詳しい内容について報告する。

キーワード: ASTER, アマモ場, リモートセンシング, モニタリング手法

Keywords: ASTER, Eelgrass bed, Remote sensing, Monitoring method